



春里中学校

学校だより 令和6年度 7月号

TEL 048-683-3458

FAX 048-683-8979

学校教育目標

自ら学ぶ生徒
思いやりのある生徒
健やかな生徒

春里中の校歌から考える

校長 小倉 弘一

私は、本校の校歌が大好きです。

作詞してくださったのは、西角井 正慶（にしつのい まさよし）さんです。明治33年にさいたま市大宮区に生まれた国文学者で民俗学者です。國學院大學教授で文学博士でもありました。元々、西角井家は、明治以前は大宮氷川神社をまつる仕事を子孫が代々承継してきた名門でした。父の正男さんは、大宮町長や氷川神社を中心に運営する仕事も務めた方です。

私は、2番の歌詞の「ゆたけき希望 けだかき理想」の部分が特に好きです。

「ゆたけき」とは、「豊けし」という古語の形容詞で「①空間的にゆったりとしている。広々としている。②気持ちや態度などにゆとりがある。おおらかだ。③勢いなどが盛大だ。」という意味があります。万葉集や源氏物語にも使われている味わい深い語句です。

「けだかき」とは、「気高い」という形容詞で「①すぐれて上品に見える。②身分が高い。高貴である。」という意味があります。

本校の生徒たちには、「豊けき希望と気高き理想を掲げて、本校を誇りつつ、胸を温かく弾ませながら学んでほしい。」という先人の願いと祈りが、美しい日本語に織り込められた誠に高貴な歌詞だと思うのです。

本校生徒のみなさんには、先人のそうした願いと祈りを心得て生活するとともに、本校の校歌を大切に歌い繋げてほしいと思います。

三	二	一
い止吾声山 ざまら高脈 やざはは遠 歌る育かく わ努つに む力 た呼 母絶くび日 校えましかの のざしくし 栄るくし 誉鍊 磨	いゆ吾胸窓 ざたらはにあ やけはあた明 誇き学たる ら希ぶかく む望 く 吾けのはそ らのだ教はず のかかえませ の中き理て 学理想	いな吾輝綾 ざつらはく瀬 やかははひの 讚し集と稲 えきうみ田 む道 春清の 吾美里らぼ らのわ校かる のしきに日 郷のしき園土



大雨の後に、校庭に虹が掛かりました

本校の学校ホームページの「今週の1枚」のコーナーにて、本校生徒の学校教育活動の様子を写真入りで紹介しています。おおむね一週間に一回程度のペースで更新しています。是非ご覧ください。

